

地球にやさしい暮らしづくりへの一歩

～飛驒地域初の水素ステーションがオープン～

飛驒地域では初となる水素ステーション「OKBひだ高山水素ステーション」が山田町にオープンし1月14日、開所式が開催されました。水素ステーションは次世代自動車である燃料電池自動車（FCV）の燃料となる水素を供給する施設です。水素エネルギーは、利用段階では地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないために、クリーンなエネルギーとして注目されています。

市では、燃料電池自動車トヨタMIRAI（写真右）を公用車として導入しました。今後も、地球にやさしい暮らしづくりをすすめてまいります。



安全安心な生活を守るために

～岐阜県隊友会との防災協定～



市は自然災害や大規模事故などの緊急時に備えて、公益社団法人隊友会岐阜県隊友会に各種協力を求めることのできる協定を1月27日、締結しました。

岐阜県隊友会は、自衛隊を退役された方を中心として約500人が所属し、災害時における経験や知識を数多く持つ組織です。

今回の協定締結により、災害時における情報収集や避難時における高齢者、障がい者、乳幼児などの自ら避難することが困難な方への避難補助を行っていただけます。その他には、避難所の開設や運営補助、物資や資材の運搬など、今回の協定により多岐にわたるご支援ご協力いただけることとなりました。

市では、今後も市民の皆さんの安全安心な生活を守るべく、各種協定を締結いただいている皆さまと連携しながら、取り組んでまいります。

守りたい人がいる
守りたいまちがある

シリーズ消防団 No.41

高山支団 第9分団

高水分団長 / 47人

高山支団第9分団は、大八地域のうち漆垣内町、塩屋町、大島町、滝町、生井町、岩井町を管轄しており、管内には大八賀川をはじめとする清流が流れ緑も多く自然豊かな地域です。この地域には、高山支団の操法大会会場となる大八グラウンドや高山地域唯一のスキー場である飛驒高山スキー場があり、運動施設が充実しています。

平成30年7月豪雨では、団員が毎日出勤し、増水した河川のパトロールや乗鞍青年の家に繋がる県道沿いの土砂の流出を食い止めるなど、懸命な活動により被害を最小限に食い止めることができました。また、昨管内で発生した建物火災では、深夜にも関わらずいち早く駆け付け消火活動を行うなど地域の安全安心のために活動しています。

これからも地域防災の要として、地元の皆様と連携を深め、地域に密着した活動を行ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いします。



高山支団 第9分団の皆さん

消防団員募集中!
詳しくは消防総務課(☎34-3792)または
各支所、最寄りの消防署まで